

2-③

友達や先生のアドバイスで内容充実

【課題】

- 自主学習に主体的に取り組む児童を育てたい。
- 自分のためになる内容を選択して自主学習に取り組めるようにしたい。

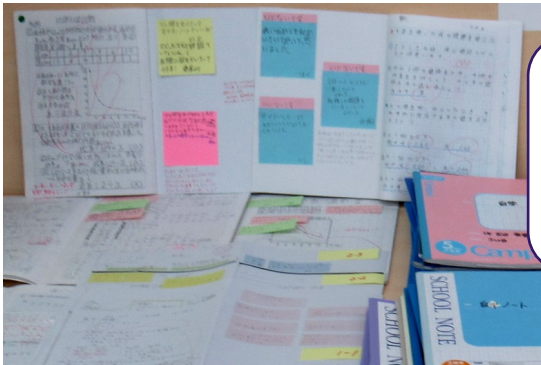
【内容】

- 自分に必要な学習を考え、実行できるように、自学ノートを他者評価する機会を設け、自ら自学ノートを工夫し改善できるように促す。

【実施方法】

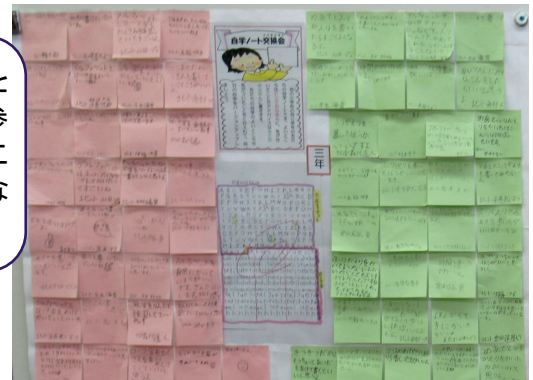
○「自学ノートアドバイス展」の実施

ペアで、短時間ノートを見せ合い、よいところや改善点を付箋に書き交換する。アドバイスをもとに、自分の自主学習の内容やノートづくりに生かす。



自学ノートアドバイス展

付箋の色ごとに、よい点や参考にしたいところ、アドバイスなどを書きます。



付箋が貼られた自学ノート交換会シート

○中学校区内での「自学ノート交換会」の実施

各学校の各学年おすすめページを拡大印刷したものを学校間で交換し、よいところや改善点を付箋に書く。他校の自主学習の特徴を知る機会になり、自分の自主学習に取り入れることもできる。また、中学生の自学ノートを小学生が見る機会を設ける。

○「自学コンシェルジュ」の開設

級外の教員3名が、数人ずつを担当して、その児童に合った自主学習の内容を提案する。児童は、コンシェルジュの提案を意識してその日の自主学習に取り組む。自主学習をして来たら、担当の教員に提出し、直接、アドバイスや評価を受ける。学期に1回（1週間程度）実施。学年ごとに1週間ずつ。



自学コンシェルジュに相談する児童

【成果・効果】

- 自主学習の内容に教員も児童自身も意識が向くようになった。
- 自主学習の内容が、変わってきた。
 - ・ただページを埋めるのではなく、自分に必要で自分のためになる内容を選択できるようになった。
 - ・その日に学んだことや間違えたところ、テスト勉強に役立つ内容などを、自主的に決めて取り組めるようになった。

【ポイント】

- 全職員で話し合い、自主学習に求めること、自主学習で育てたい力等を、明確にする。
- 一人一人の興味関心や教科指導上の課題などを把握し、一人一人にあった助言をする。
- 自主学習の内容が授業内容とつながっていることで、取り組むメリットを感じさせる。

(岩美中学校区)